

未来をつくる 2021

国内マーケット首脳に聞く

=49=

2020年4月の「特定整備」導入に伴い、電装整備事業者への注目が集まっている。従来からスキャンツールを用いた整備に長けており、その技術に

「20年度前半は自粛ムードが蔓延して各社とも厳しい状況だった。昨夏以降は新車販売の回復に伴い、カーナビゲーション

が定着するはずだ」
特定整備の施行から1年が

「私たちはスキャンツールを用いて故障箇所を探し出すこと

「実際に手掛けた回数が少ないと試行錯誤の繰り返しになってしまふようだ。格別、困難な作業ではなく、情報量に左右さ

やETC機器の設置など仕事量が増え始めた。ただ、エアコン修理などは今後減っていく方向であるだけに、楽観視は禁物だ。団体運営ではリモートでの会議が浸透し、出席者が慣れ始めた。直接のコミュニケーションがなくなることはないが、アフターコロナでもこうした動き

ら電子に移り変わる整備業界の流れを歓迎している。電装整備事業者の経験値が役に立つ場面はこれから増えてくるはずだ」
特定整備ではADAS搭載車のエミシング(機能調整)作業の重要性が高い

電子制御装置整備の認証取得後押し

経過した現状をどう見る
「電気の仕事をして

る面が大きい。ターゲットやスタンドなどの機器をどこまで用意するかは各社の経営判断になるが、スキャンツールの扱いに長けた電装整備事業者は積極的に実施してもらいたい」

電子制御装置整備の認証取得を後押ししている。紫関雅美会長に特定整備や今後の業界展望などについて話を聞いた。

(谷口 利満)

業界を取り巻く状況分析について



全国自動車電装品整備
商工組合連合会(電整連)

紫関 雅美会長

「電子制御装置整備の認証取得に必要な整備主任者の資格講

習会にJAGU組合員の参加を受け入れている。協力関係を深めることで万全な整備体制が構築でき、自動車ユーザーにとっても利点は大きい。地域ごとに取り組みの進行度合いは異なるが、引き続きスムーズな運営に努めたい」

「経験、生かせる場面増える

「電整連や電装整備事業者の役割を広くアピールしていきたい。新車ディーラーのサービス工場への入庫量が増え続け、業務はひっ迫している。整備士の人手不足も背景に状況が改善する兆しは見えないだけに、電気関係の仕事は電装整備事業者にもっと任せてもらいたいと考えている。そのためには『信頼』がキーワードになる。これから電子的な整備の重要性が増す中で、新技術は絶え間なく登場してくる。知識と技術レベルの向上で私たちとしても腕を磨き続ける必要がある」

今後の重点課題は

「電整連や電装整備事業者の役割を広くアピールしていきたい。新車ディーラーのサービス工場への入庫量が増え続け、業務はひっ迫している。整備士の人手不足も背景に状況が改善する兆しは見えないだけに、電気関係の仕事は電装整備事業者にもっと任せてもらいたいと考えている。そのためには『信頼』がキーワードになる。これから電子的な整備の重要性が増す中で、新技術は絶え間なく登場してくる。知識と技術レベルの向上で私たちとしても腕を磨き続ける必要がある」